

太田市立南小学校 公開授業 小 総合的な学習の時間

総合的な学習の時間 第6学年 共に生きる」

授業者 太田市立南小学校 小暮 幸男

1,本時のねらい

自分たちがテーマについてまとめたことを相手にわかりやすく発表し、聞き手の意見を次回に生かそうとする意欲を持つことができる。

2,視聴覚機器の位置づけ

(1)テレビ会議

テレビ会議の特徴の1つとして、他校の情報を得ることで、子どもたちの学習効果があがるということが考えられる。本授業では、沼田市立薄根小学校と接続し、「福祉」について6年生が学習した内容を4年生に発信する。その中で、特に太田市の「町づくり」などの発表は、太田市の特色を沼田市に伝えるという観点では、大変有効であると考えている。

(2)チャットによる発信

チャットで発信することで、話し合い活動がリアルタイムで行える。インターネットさえつながっていれば、全国、どの学校とも発信ができるのでその有効性はかなり高いと考える。本授業では、高崎市立北小学校の5年生の児童と発信した。

3,授業の概要

身体障害者や高齢者のことについて、自分たちでまとめてきたことをグループごとに他の学校にむけて、発表し合った。発表形式は、テレビ会議グループとチャットグループの2通りであった。テレビ会議グループは、発表の後、沼田薄根小の児童からテレビ画面(プロジェクター)を通して意見をもらった。また、チャットグループは、事前に高崎北小の児童にビデオレターを送っておき、見てもらった後にチャットにて意見交換した。



テレビ会議グループの発表

高齢者について調べまとめたことを、太田市長や高齢者に発信した。

点字について調べたことや点字絵本、道具や施設などを紹介した。

高齢者が使っている道具や施設のこと、介護を学んだ経験を発表した。

<児童の感想>

- ・「テレビ電話みたい」と思いました。つながると相手が見られるし、会話もできるからTV会議はいいと思います。(南小)
- ・相手の顔が見えるので、ふつうに会話をしているみたいでした。(南小)
- ・電話は話している人の表情が見られないけど、TV会議は人の表情が見られていいと思いました。(薄根小)

チャットグループの発表

からだが不自由になった原因や不自由な人に対する基本的なマナーや介護について、また、私たちにできることについて発表した。

聴導犬について調べたことや募金のしくみと募金活動、また、手話の歌「大きな古時計」を歌って紹介した。

<児童の感想>

- ・声は出せないけど、言葉で相手と話せることは、とても便利だと思いました。(南小)
- ・会話がかみ合わないときがあり、なかなか難しい。なれると相手も早く返事を送ってくれるので、何かと便利だと思った。(南小)
- ・チャットというのは、相手の顔が見えなくて、とても危険なこともあるけれど、ちゃんと約束を守れば楽しいことだとわかりました。(高崎北小)

テレビ会議グループの児童は、薄根小の児童からの意見を興味を持って聞き、感じたことなどをリアルタイムで意見交換していた。また、チャットグループの児童もビデオレター視聴後の北小児童の感想をチャットにて交換し、早く意見を聞きたい気持ちがやりとりの中によく表れていた。